

ふれあい情報

2017年6月14日(水) 第256号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井 義夫
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

第21回定期総会

選挙管理委員会

役員立候補受理を告示

第6回幹事会

退職者連合は、6月14日午後、連合本部3階会議室で第6回幹事会(写真下)を開き、第21回定期総会の議案6本と2016年度一般会計決算見込みを承認するとともに別掲の通り「役員立候補受理告示」を確認しました。また議長団、総会書記長・書記、各種委員候補の氏名が報告されました。

役員立候補届け受理告知について、事務局で調整を行うとの第5回幹事会確認を受けて了承されました。

総会議案のうち、第1号 議案の低所得高齢単身議案2017年度運動方針 女性問題に関する政策・制度要求案 第4号 策・制度要求案に対する政策・制度要求案 第4号 て、構成組織から出された第4回役員推せん委

役員推せん委員会、選挙管理委員会を開く
 4月24日に開催された第4回役員推せん委

員会は、役員改選について関係構成組織に会長、副会長、事務局長、幹事等の就任を要請しました。氏名は「役員立候補届け受理告示」にもとづき、構成組織から選挙管理委員長に届けられることになりました。また5月7日第1回選挙管理委員会が開催され、委員長に菅沢春樹幹事(全水退)、委員に池田捷治幹事(神奈川シニア)と北村典

子幹事(全国退女教)の3人が就任しました。

7人追加推薦決める

第48回衆議院選挙

連合は5月25日開催の第20回中央執行委員会で、第48回衆議院選挙の選挙区選挙候補予定者として、7人を推薦決定しました。これにより退職者連合も候補予定者7人を幹事会で追加推薦しました。

告示

日本退職者連合役員立候補受理について

日本退職者連合
選挙管理委員会

日本退職者連合は、規約第49条、50条、54条および役員選挙規則第8条(立候補届け出期日の告示)、第9条(立候補手続き)にもとづき、第21回定期総会における役員選挙のため、下記のとおり立候補届を受理します。

記

- 1. 立候補届受理期間 2017年6月14日(水)~27日(火)
- 2. 立候補資格 日本退職者連合役員、会員、職員
- 3. 役員の種類と定数

会長	1名
副会長	4名
事務局長	1名
副事務局長	2名
幹事	30名
会計監査	2名

なお、常任幹事(若干名)は退職者連合規約第55条の定めにより、総会直後の幹事会で幹事の中から互選します。

- 4. 立候補手続き
 当該所属組織の推薦を得て、定められた期日までに所定の届け出文書を、退職者連合事務局長を経て選挙管理委員長に提出する。

以上

2017全国高齢者集會第2回実行委員会 企画実施・内容決まる

幹事会の終了後、第2回実行委員会が開かれました。委員会では、企画のポイントを検討しました。充実した集会にするため時間を2時間30分とり、第一部「式典」第二部「交流の広場」で構成します。

「交流の広場」では、ボランティア活動で披露される会員の踊りや歌、マジックなどを紹介。オープニングは12時30分からとする等の内容です。



中央労福協、労金協会、全労済が来局

「労働者自主福祉運動」の推進に向けた協力要請

6月12日午後、中央労福協 要請に対し阿部会長は、「互いの南部美智代副会長（連合副事務局長）と同じく塩原洋光事務局長、労金協会の小川俊明営業企画部次席調査役、全労済の増田昌彦産別・公益推進一部次長が来局、4人から労働者自主福祉事業について協力要請を受けました。

退職者連合からは、阿部保吉会長、菅井義夫事務局長、林道寛副事務局長が対応。

017年度運動方針の中で労働者自主福祉運動との連携を打ち出しています。



▲右から阿部会長、南部副会長、塩原次長。左から小川次席調査役、増田次長。後ろ姿は菅井事務局長。

「STOP!!カジノ in ちば」開催

菅井事務局長が報告



「カさん」から、ギャンブル依存症がどれほど人生を狂わせるかについて、自身の体験談が語られました。また、カジノ実施法策定の動きを見据えた「国会情勢と今後の運動」について、日弁連の新里宏二弁護士から提起が行われ、各団体・組織の取り組み報告では、菅井義夫事務局長が「カジノ賭博合法化阻止に向けた退職者連合の取り組み」について報告しました。

シンポジウム修了後、参加者は千葉市内の目抜き通りを40分ほどのデモ行進（写真上）を行いました。



▲取り組み報告する菅井事務局長。

6月3日(土)午後、「カジノ被害から地域を守るシンポジウム」が千葉市中央区の千葉県弁護士会館で開かれました。「STOP!! カジノ in ちば」と題して開かれたシンポジウムは、千葉県弁護士会が主催し、退職者連合、千葉退連、千葉県労福協、消費者団体などが後援して行ったもの。参加者は100人で退職者連合からは菅井義夫事務局長、千葉退連から高橋洋幸副会長のほか3人、千葉労福協の黒河悟会長ほか、が参加しました。

カジノ問題に造詣の深い静岡大学の鳥畑与一教授による「IR型カジノと千葉の未来」と題する基調講演があった後、元ギャンブラー「タ

日弁連が社会保障制度改革をテーマにシンポジウムを開催



▲弁護士や市民が日弁連の連続シンポに参加。

6月12日、霞ヶ関の弁護士会館で社会保障制度改革の現状と課題に関する連続シンポジウムが日本弁護士連合会（日弁連）の主催で開催されました。

テーマは「これからの日本の医療—医療の質の向上と費用の節減をどう両立させるか—」。弁護士や市民団体などから70人が参加し、退職者連合からは、菅井義夫事務局長、野田那智子副事務局長、林道寛副事務局長が参加しました。

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索